

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市東四郎丸児童館
2 指定管理者	特定非営利活動法人FORYOUにこにこの家
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 12,931人(前年度比 115.5%) 令和5年度 11,192人 令和4年度 10,477人
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 32,763千円 (32,143千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、にこにこ児童館応援隊、にこにこ児童クラブ保護者会を実施。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	31/31
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援及び家庭支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。 なお、年間通して計画的に放課後子ども教室と連携を図り、放課後児童クラブと放課後子ども教室の子ども達に多彩な体験の機会を提供しながら、活動を通して交流を深め地域の子ども同士が繋がる支援を行っている。	20/19

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人FORYOUにこにこの家）による自己評価》
「こどもが健やかに育つまちづくり」「子育て・子育て支援社会」の実現を目指し、望ましいこどもの心の育ちと環境を整えて行くために、「手をつなぐ児童館」「こどもの未来を応援する児童館」として、児童館がこどもたちにとって安全・安心な居場所になるように運営を行ってきた。また児童館運営当初からの「地域 みんなで子育て」の視点から、児童館事業の4つの柱に取り組んだ。コロナ禍で育ってきたこどもたちと子育て保護者の生活環境を鑑み、地域交流や健全育成を組み込んだ児童クラブや子育て支援室の運営に力を入れた。児童クラブではこどもたちがお互いを認め合うことや自己肯定感を育てるため、学校と目標を共有し、地域の協力を得て実施した。児童クラブのレクリエーションには学校訪問のハロウィン、放課後子ども教室とのコラボレク、老人クラブ運動会参加、施設の七夕飾り作り、地域の方の話や認知症サポーター講座、防災リュックで避難訓練、Xmas活動報告会、進級お祝い会なども継続して行い、保護者会ではグループトークタイムを設け、また子育て支援室では歳時行事に併せてイベントを開催し、こどもたちや子育てを応援する環境があることやつながることの大切さを伝え、4つの事業を展開した。そして震災後に結成した東中田子育てネットワークや学びのコミュニティかにつこ和太鼓隊の事務局として、学校や児童館、子育て支援団体と連携し、児童館運営協議会「にこにこ児童館応援隊」や地域福祉ネット「ほっとネットin東中田」と情報を共有し、貴重な意見などを取り入れた児童館運営を行った。今後も児童館運営の4つの柱を念頭に、0歳からの切れ目のない子育て支援や家庭教育支援を踏まえた子育て家庭支援・放課後児童及び健全育成を地域交流推進事業と兼ねて行い、学校教育・家庭教育・社会教育が重なり合って、こどもたちが明日に希望が持てるように取り組む。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
児童健全育成事業においては、東中田地区小中学校との連携事業「かにつこ和太鼓隊」を継続して行い、異年齢のこども達が学区を超えて交流を図り、こども同士が関わりながら社会性や主体性を育む場となっている。地域の夏まつりや市民まつりなどで発表する機会も多く、達成感や自己肯定感を得る機会となっている。 子育て家庭支援事業においては、概ね3歳児親子対象の幼児クラブや年齢枠を設けていない「ma*ん:maルーム」を実施し、シャボン玉遊びや交通安全教室、クリスマス会など、趣向を凝らしたプログラムを提供し、参加者同士の情報交換や仲間作りの場になっている。また、幼児クラブでは、袋原たんぽぽホームや太白区家庭健康課などと連携して、こどもの発達や育児に関する相談をできる会も定期的に設け、保護者の育児に対する不安の軽減を図っている。 地域交流推進事業においては、にこにこ児童館応援隊や東中田子育てネットワーク、ほっとネットin東中田など、地域の関係機関と連携し、充実した事業を展開している。また、近隣の高齢者施設へ七夕に届けたプレゼントの見学に行ったり、老人クラブと共催しての七夕飾り作り、老人クラブ運動会などを実施し、地域の方々との世代間交流を通してこどもの豊かな人間性を育てている。 放課後児童健全育成事業においては、親の日カード作りなどの簡単な工作にチャレンジする「チャレンジ広場」や、児童ドッジボールや縄跳びなどの運動遊びを行う「スポーツ広場」などを定期的に実施している。豊富な体験プログラムを提供し、様々な活動を通して健康増進や自ら学び考える力を育てている。また、放課後子ども教室と連携を図って月1～2回行事を実施し、小学校の体育館を使用したドッジビーや児童館での七夕飾り作り、ハロウィンの衣装作りなど、多様な活動の場を提供している。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課